

きずな

平成29年 第49号
 社会福祉法人 賀光会
 救護施設 賀光寮
 障害福祉サービス事業所
 (生活介護) ポプラ
 発行人: 川端 健高
 藤井寺市藤井寺4-11-8
 TEL 072-955-0653
 FAX 072-955-0905
 E-mail: gakoukai@m5kcn.ne.jp
 http://www5kcn.ne.jp/gakoukai



* 本号のきずなは、年賀状の代わりとして発送させていただいております。

新年のご挨拶

支援課長 三宅 重樹

新年あけましておめでとうございます。新しい年を迎えるにあたり、その人らしい幸せづくりを支援する」という法人の理念を中心に、職員が心をひとつにして事業を進めてまいりたいと存じます。利用者の方々、関係機関やボランティアをはじめ地域の皆様には変わらぬご支援をくださいますようお願いいたします。

平成29年の干支は丁酉ひのとおりです。酉は果実が実った状態を、丁は一見、良い年になると思われるのですが、陰陽五行説では丁(火)と酉(金)は相克の関係と言われます。実る」と安定の意味が逆に打ち消しあう…。今年を経済状況や世相等から考えられるのは、①経済は足踏みし、新しい法律や制度などにより不安や混乱が生

じる②潜在的な問題 格差社会・災害・環境破壊…で、社会全体が不安定になりやすい③苦勞して生まれてくるものから未来への希望や幸せも垣間見えるということが言えるかもしれない。先行きが見えにくい時代ですが、産みの苦しみ」というフレーズに期待しながら、希望や幸せに向けて新しいことにもチャレンジしてみたいところですよ！

本年4月には改正社会福祉法が施行されます。社会福祉法人において、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取組を実施する責務などが求められています。理念に基づいたあるべき姿」を見据えつつ、あらためて法人のビジョンをしっかりと描いていく必要があります。

日帰り旅行

〜ピチピチ、ぷりぷり
のかには美味しい!〜

支援員 和田 浩一

日増しに朝夕冷え込み、秋の深まりを感じる季節の中、待ちに待った日帰り旅行（かに道楽松原店）へ利用者の方17人、支援員4人の合計21人で行って来ました。当日、朝から利用者の方々は、楽しみにされ、出発時間の前にそわそわとされていました。かに道楽松原店）の店内では、大



かにはやっぱりうまいなあ♪

きな水槽にたくさんの蟹が泳いでいて、利用者の方々の表情をみると、食欲をそそられているようでした。席に着き、蟹の刺身、蟹の天ぷら、焼き蟹、蟹寿司と次々と料理が出てきて、皆さん、蟹料理を心ゆくまで楽しんでいました。約2時間の食事時間は、あつという間に終わりが近づき、お腹をいっぱい満たし、頬に美味しかったという文字が書かれているかのようにでした。利用者の方々は、名残惜しい様子で、かに

道楽松原店）を後に賀光寮へ戻り、「ぷりぷりの蟹 やったわ」この時期の蟹はおいしいなあ」などの感想をいただきました。

日帰り旅行

〜楽しめる場所が多い
大江戸温泉〜

支援員 岸 瑞記

山の木々が少しづつ色づきはじめ、秋の深まりが感じられるようになった11月14日に日帰り旅行 箕面温泉スパーガーデンを

行いました。当日、参加された利用者は8人、支援員が4人でした。当日、マイクバスでの移動中は雨天でしたが、箕面温泉スパーガーデンに到着する頃にはほとんど降っていませんでした。当日の日帰り旅行を楽しみにされていた利用者の方々の思いが通じたのでしょうか。到着後、場内をしばらく散策した

のちにランチバイキングを食べました。和食、洋食、中華とさまざまな料理があり、利用者みなさんがそれぞれ思い思いの料理を皿に盛り付けていく姿には、それぞれの個性が現れていました。



昼食後は、大衆演劇を鑑賞される方、周囲を散策し、風景を楽しまれる方、

温泉に入りリラクサされる方、土産物屋で親しい人への贈り物を購入される方と、それぞれに楽しまれています。

かんぱーい!!



た。帰りは集合場所です。記念撮影を行いました。ある利用者からは「またここに来たいなあ」という感想をいただきました。次も楽しい一日にできるよう日帰り旅行を企画していきます。



「最優秀賞」受賞しました!

支援員 松村 剛志

11月8日(火)に太閤園で行われた第17回大阪救護施設合同文化事業に、参加しました! 賀光寮は6人の利用者がパフォーマンスを披露しました。今年は音楽に合わせて傘を使った踊りを発表しました。

本番までの練習では、傘を回したり開いたり閉じたりを何回も繰り返し返していたので、傘が折れ

てしまうハプニングがありました。本番ではハプニングもなく無事に発表を終えることができました。賀光寮は、パフォーマンス部門では「パフォーマンス賞」をいただきました。また、展示の部では賀光寮の陶芸科



で利用者の方々が製作した灯笼や皿・湯のみなどを展示し、なんと「最優秀賞」をいただきました! 初めていただいた「最優秀賞」だったので、利用者も職員もみんなで歓声をあげました。合同文化事業に、今年から担当させていいただきましたが、会場に行き他の施設のパフォーマンスを見てとても

驚きました。劇や歌などいろいろなパフォーマンスがあり、どの発表もクオリティが高く、圧倒されました。今年に展示の部で「最優秀賞」いただきましたが、来年もまた、最優秀賞をいただけるように利用者の方々と一緒に頑張つていきます。来年は、展示部門、パフォーマンス部門ともに「最優秀賞」を獲得ぞー!



環境整備

花壇づくり

支援員 松原 満茂

農園芸科と通所事業の利用者の方が中心となつて環境整備を行っています。今回の環境整備で作業したのは、花壇作りです。12月7日(水)に農園芸科、通所事業の利用者の方と大阪芸術大学の介護等体験の実習生で行いました。

花壇作りをするために前準備として、除草と整地を行い、それが終わると、石材を使って花壇の枠作



りを行い、花壇に使用する土を農園から運びました。冬の花として、葉ボタンやパンジーなどを植えつけて花壇が出来上がりました。

今回は、環境整備で花壇作りを紹介しましたが、その他に賀光寮敷地内の樹木の剪定や草刈り、溝掃除などを行っています。利用者のみなさんは楽しくやりがいを持って協力し合つて働いています。



賀光会バザール 大成功!!

支援員 宮端 誠
 当法人年1回のお祭り「賀光会バザール」を開催しました。今回は、職員の宮端が初めて総合担当をさせて頂いていただきました。今年度のバザール実行委員会の職員は、経験が浅かったため、早くから準備を進めていきましたが、予定どおりに物事を進めることができず、関係者の皆様にご迷惑をお掛けしました。

賀光会バザールを開催するにあたり、必要な書類の作成等で時間が掛かりながらも、バザール実行委員会の職員や他の職員の協力を頂き何とか無事に賀光会バザールを開催することができました。

今年度は、天候に恵まれ、晴天の暖かい日となりました。模擬店では初のソフトクリーム、ポップコーンの店を展開し、売れ行きも好調でした。また会場のレイアウトを工夫し、休憩して頂ける場所を多く取り、たくさんの方がゆっくりすることができました。

アトラクションに出演していただいた団体は、特設会場でパフォーマンスを披露して頂きました。また、今回は、テレビの歌まね番組にも出演し、歌うまキッズとして有名な藤井舞乃空さんに出演していただきました。藤井舞乃空さんが出演し、歌を披露された時には、あふれんばかりの観客で会場が賑わいました。

来て頂いた皆様には厚くお礼申し上げます。まだまだ課題はたくさんありますが、より良い賀光会バザールを目指して、職員一丸となって頑張っていきますので、よろしくお願い申し上げます。



作業科模擬店の紹介!!

支援員 野崎 浩司
 今回の作業科模擬店は、農園芸科の野菜と花苗、陶芸科の陶器とお茶席、リフォーム科の雑巾販売、軽作業科のフリーマーケット、OA科のヨーヨー釣り、そしてポプラのあてももの、ジュース販売でした。



賀光会バザール

～賀光寮・ポプラ～

平成28年10月10日(月・祝)

賀光会バザールの特徴は、各作業科で作品販売等を行うことです。今回は利用者さんだけでなく、ボランティアさんもおの作業科を手伝いましょうか?と手慣れた模擬店を担当していただき、非常にスムーズにバザールを進めることができました。改めて地域の方々の協力で成り立っている賀光会バザールだと感じました。



ポプラで販売しているものは?

支援員 中山 和紀
 ポプラでは、飲み物販売とあてももの輪投げを行いました。利用者の方々は、「いらつしやいませー」「ジュースありますよ」あてもものしませんか」など、声を出して店番をしました。普段経験できないことなので、利用者のみなさんにとっ

ては、楽しい一日になったことでしょう。バザール終了後には、利用者の方から、ジュースが完売してよかった! 輪投げをもう少しやりやすいように工夫する必要があります。あるなどの感想や反省をいただきました。次回の賀光会バザールもポプラの利用者みなさんと一緒に盛り上げます。

ご協力ありがとうございました
 地域の方々や関係する方々から、心のこもったご寄贈、ご寄付をいただきました。心からお礼申し上げます。

【ボランテイア】
 個人ボランティアの皆様
 ポプラ保護者会の皆様

【アトラクション】
 和太鼓 ひびき隊
 歌うまキッズ 藤井舞乃空様
 沖縄民謡 涼風会様
 腹話術 藤井寺キンダース様
 よさこい踊り 藤井寺どんとこい様

【出店協力施設等】
 松原市 若い肢体障害者の会様
 藤井寺西小学校様
 まつしの様
 わつと様



社会体験 民族文化に触れてみた

支援員 的場 敏雄

今回の社会体験は、4回に分けて万博記念公園にある国立民族学博物館へ行ってきました。11月14日(月)は、あいにくの雨模様でしたが予定どおり2台の車に分乗して、レッツゴー!」、一時間ほど高速道路を走って、11時半頃に到着すると、太陽の塔のお迎えです。駐車場が太陽の塔



の後ろ側にあり、少し残念です。

到着後すぐに昼食を食べました。あらかじめ決めておいたカレーライス

やパスタ等、みなさんおいしそうに食べておられました。その後、世界各地の民族文化を展示してある国立民族学博物館へ入場しました。皆さんの思い思いの地域を見学されていました。が、やはり日本の展示に親しみがあつたようです。ゆつくりと館内を見学した後、午後



2時に駐車場を出発し、帰路につきました。ポプラには午後3時頃に到着し、「おかえり〜」どうやった?」と出迎えを受けて今回の国立民族学博物館への社会体験は終了しました。参加された利用者のみならずには、いい思い出となりました。

社会体験 モアイ像がお出迎え

サービス管理責任者

青柳 達雄

今回は、吹田市にある万博記念公園内の国立民族学博物館へ、11月7日(月)、11日(金)、14日(月)、18日(金)の4日間に分かれて、行きました。私は、18日(金)に参加をしました。当日は快晴で暖かく、過ごしやすい



これなんやろー?

気候でした。国立民族博物館に入館し、利用者の方々と一緒に見学をしました。最初の南国のエリアにはモアイ像が展示されていて、「大きい」と大きさが驚かれています。沿って見学をしていくと、アジアエリアや、その他展示パネル、点字文字作成の体験コーナーなど興味を持たれたブースに、利用者の方々がそれぞれに楽しまれていました。また、順路の途中で休憩を兼ねて椅子に座り、民族の



衣装などの展示物を見ていました。

見学を終え、ポプラに戻ると、



ある利用者から「少し疲れ、たけど、みんなと一緒に行けて楽しかったよ」と感想をいただきました。今回の社会体験で、世界には様々な人々がいることを知っていただくことができました。

運動会

次はがんばりま賞

支援員 中山 加代

10月26日(水)に日中系部会が主催で開催されたみんなあつまれ！運動会！にポプラで参加しました。

今年で6回目の開催で、ポプラもすっかり常連です。いくつもの施設の利用者の方々が集まるので、なかにはポプラ利用者の支援学校時代の同級生の方もいらつしやいます。〇〇ちゃん、元気？」とお互いに久しぶりの再会を喜ばれちよつとした同窓会のようでした。競技は、みなさ



高く高く積むぞー！



口を大きく開けて獲るぞー！

んが楽しんで参加できるように工夫されています。おもちやの金魚を釣る、金魚つり、「玉入れ」「空き缶つみ競争」「テーブルボリリング」「お菓子食い競争」などの種目にポプラ利用者の方が一丸となって取り組まれました。気になる順位は残念ながら、上位入賞をのがし、「次はがんばりま賞」でした。しかし、みな



さん満足気な表情で、順位はあまり気にされていない様子でした。この運動会の参加は職員としても、いつもとは違う利用者の方の姿を知ることのできる貴重な機会でした。

運動会に参加した利用者の感想

- ・缶積み頑張ったけど倒れてしもた。
- ・いつもお菓子食い競争はむずかしいわあ
- ・「次はがんばりま賞」を獲れてよかった！
- ・来年も開催するんやったら絶対に参加したい！

陶芸クラブ

何を作っているのかな

支援員 中山 和紀

ポプラでは毎月第2週目と4週目の水曜日に陶芸クラブを行っています。ボランティアの方々と一緒に陶芸するのは、利用者の方々が楽しみにしている活動です。

今回陶芸クラブで作成しているものは、賀光会の敷地内に置く物で、「鳥」と「くまのプーさん」の置き物です。まずは粘土を棒状に引き伸ばして巻いていき、型を作っていきます。型ができると、次は「鳥」と「くまのプーさん」班に



こねてこねて大きくなあれー！



どんな色にしようー？

分かれてそれぞれのパーツを作成していきます。鳥班では、どんな種類の「鳥」にするか話し合った結果、「わとり」に決定し、トサカなどのパーツの作成をします。「くまのプーさん」班はお腹が特徴的なので、型にお腹の部分に粘土を付けていきます。

利用者からは「こんな大きい物を作るの大変やわ」とややがいがあつて完成するのが待ち遠しいなど感想を述べられました。素焼きが終わり、色付けをしているところですが、利用者みなさんの目にはどんな完成型が描いているのでしょうか……とても楽しみです。

防災訓練〜大阪府880万人訓練〜

主任 森川 大輔

平成28年9月5日曜日午前11時、大阪府下で実施された大阪880万人訓練に合わせて、南河内地域に大きな地震が発生したため、安全な場所として屋外に避難するという想定で賀光寮・ポプラ合同で訓練を実施しました。

午前11時3分に大阪府からの880万人訓練一斉メーラーを受信し、訓練を開始しました。携帯電話のメーラーの受信音が一斉に鳴り響き、訓練の緊張感が一気に高まりました。身を低くして頭部を保護して下さい。外へは飛び出さないで下さい。と館内放送が入り、屋外には対策本部が設置されました。ヘルメット姿の職員が走り回り、怪我をされた想定の利用者が、担架で運ばれるなど、実践さながらの想定で行われ



ました。屋内の安全が確認され、利用者みなさんの避難が完了しました。例年に比べ、慌てて屋外に避難される利用者の方々が少なく、職員の誘導によつて落ち着いて避難することができました。

避難訓練終了後、非常食の炊き出し訓練を実施しました。炊き出しの献立は中華井とみそ汁でした。中華井の素、レトルトご飯、みそ汁缶、長期保存用飲用水を使用しました。中華井の味は好評でした。

来年は、被害状況の設定を変えするなど、工夫し、マシネリ化せず緊張感をもつて実施していきます。

イベント食 〜アツアツおでんほしい〜

栄養士 井土垣 裕子
毎月1回、昼食時にイベント食を行っています。11月はおでんバイキングでした。少し肌寒くなってきた季節に、あつあつのおでんバイキングは、多くの利用者の方が心待ちにされているメニューです。湯気が立ちあがるおでん鍋には、大根・卵・竹輪・結び蒟蒻・絹厚揚げ・牛筋・ごぼう・

じゃがいも・ロールキャベツ・ウィンナーと、何と10種類の具が！利用者の方が、各自好きな具を選んで食事されていました。あちらこちらから「あつたまるわ〜」おいしいわ〜と声があがり、おでんのつゆもしつかり最後まで飲み干す方もおられました。おかわりをされる方も沢山いて、イベント食のおでんバイキングは、利用者の方々に大好評でした。

喫茶 〜くつきぎの時間〜

支援員 大坪 馨

賀光会では、毎月1回、賀光寮食堂で喫茶を行っています。コーヒー、紅茶、ジュースのレギュラーメニューに、昨年度からは、夏場にスムージー、冬場にホットココアが加わりました。季節の変わり目には、喫茶の日が近づくと、利用者の方々は、今回はスムー



ジーあるのかな？」や、そろそろホットココアやるの？」と待ちきれない様子で、準備する側にとつてはとても嬉しく、また、やりがいを感じます。皆さんにより一層楽しんで頂くために、これからも色々と取り組んでいきます。

編集後記

今年度の賀光会バザーでは、新しくソフトクリムとポップコーンを出店し、アトラクションでは、タレントで歌うまキッズの藤井舞乃空さんに出演していただきました。その影響か、例年よりもお客さんが多く、大成功でした！ボランティアの方々・スタッフの方々ご協力ありがとうございました。



今年はインフルエンザ・ノロウイルスが例年よりも流行しています。10年にも一度の流行と言われています。特にノロウイルスによる感染性胃腸炎を発症する人が増加しています。1〜2月にかけてさらに流行すると予測されるので、手洗い・うがい等をして予防に努めていき、この冬を乗り越えていきましょう！